

# 第2期和歌山市人口ビジョンの概要

令和2年2月

和歌山市

# 第2期和歌山市人口ビジョンの概要

## 人口ビジョンの経緯と現状

- ・本市では、人口減少・少子高齢化への課題に対応するため2015年10月、第1期「和歌山市人口ビジョン」及び「和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、様々な取組を行ってきました。この度、策定から4年余りが経過し次の5か年に向けた施策の方向性を示す第2期総合戦略を策定するにあたり、その基礎資料となる第2期和歌山市人口ビジョンを策定します。
- ・第2期和歌山市人口ビジョンでは、新しい統計データを追加するなどし、目指すべき将来の方向性をお示ししています。
- ・将来推計では、2040年が人口30万人（県都として主要な都市機能を維持可能な人口規模）を大きく下回るか否かの分水嶺となっています。
- ・今後は第1期総合戦略で推進された大学誘致等の効果による転入促進、転出抑制が期待される中、ライフステージの変わり目などに人材流出が起これないように更なる転入促進、転出抑制策を進めていくことが求められます。

## 人口ビジョンの内容

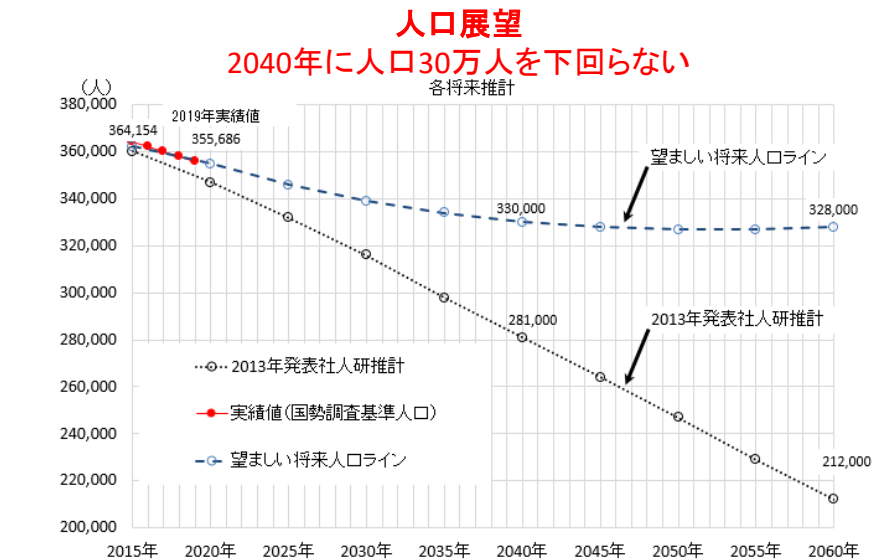
- ・これまでの人口推移と社人研による将来推計
- ・自然増減と社会増減の推移
- ・女性人口、男女の未婚率と初婚年齢、女性の有業率など他データと合計特殊出生率の相関分析
- ・子育て状況のアンケート調査について
- ・男女別年齢階級別転入転出の動向
- ・県外大学進学率と高校生の県内就職の状況
- ・小中高生の定住意向について
- ・産業の動向、在留外国人の動向、医療・介護施設の現状
- ・将来の人口展望及び目指すべき将来の方向

## 目指すべき将来の方向

現状、しばらくの人口減少は避けられないが、県都として主要な都市機能の維持に必要な人口規模 30万人を下回らないよう注力する。

そのためには、本市が強みを持つ産業の力を堅持しつつ、更に若者をはじめとする市内就職等を推進するために、成長著しい産業分野をはじめ、多様な産業の振興を図り、各産業間が相互に影響を与えて成長していく必要がある。また、雇用の創出だけでなく、ライフステージの各場面においても、人をひきつけるまちとなる必要がある。

これらは長期総合計画で定めている目指すべき将来都市像と重なるため、第2期和歌山市人口ビジョンの基本目標は、長期総合計画における4つの基本目標と同様とする。



望ましい将来人口ライン(第1期和歌山市人口ビジョンに示すケース④)

2013年発表社人研推計をベースとして、合計特殊出生率の上昇(2020年1.7、2030年1.9、2040年~2.07)に加え、2060年までに流出抑制・流入数が5年間換算で約7,000人となるよう数値を段階的に引き上げた推計

## 長期総合計画における将来都市像

### 4つの基本目標

1. 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
2. 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
3. 子供たちがいきいきと育つまち
4. 誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち